

市政継続

実績強調、批判かわす

十二日投開票された太田市長選は、「市政継続」を呼び掛けた清水聖義氏に対し、他候補は「多選の弊害」や「刷新」を訴えて戦ったが、現市政への批判票が分散したことで対決色が薄まり、現職の壁を突き崩すうねりは起こらなかった。ただ落選した三氏の票は、景気悪化も背景に、市政に対する閉塞感を感じている市民が少なくないことを示した。

選挙戦で清水氏は旧太田市を含め通算四期十四年間にわたり市政トップを務めた「実績」を強調。多くの市議や地元三県議、国会議員らが支援に回ったほか、告示直前に公明の支持も受けて基盤を固めた。

これに対し秋山一男氏は草の根運動の支持者とともに市政刷新をアピールしたが及ばなかった。長谷川嘉一氏は医療施策や基盤整備などを訴えたが出馬表明の遅れもあって政策を浸透させられず、長沼広氏は「生活第一の市政」を掲げたが支持を広げられなかった。景気低迷が市の経済をけん引してきた輸出



「本当に申し訳ない」と支持者に頭を下げる秋山氏＝12日午後9時50分

刷新へ再挑戦も 実らず「力不足」 秋山氏

「チェンジ！おわた」をスローガンに市政刷新を訴えてきた秋山一男氏だったが、声は届かなかった。午後九時半、清水氏当選の一報が流れると、浜町の選挙事務所が集まった支持者は「えー」と絶句。秋山氏が姿を現すと、涙を流す支持者もいた。秋山氏は深々と頭を下げ、「四年前の敗戦以来、みなさんに支えら

れ地道に活動してきたが、全く私の力不足でこの結果になってしまった。本当に申し訳ない。願いは届かなかったが、結果はきつと市政に反映する」と声を震わせた。

深々と頭下げ 「断腸の思い」 長谷川氏

「当選で報いられず、断腸の思い」。長谷川嘉一氏は午後九時半ごろ落選が判明すると、新道町の選挙事務所が集まった支援者に深々と頭を下げた。救急医療態勢の整備を政策の柱に掲げ、市内最大の票田である地元・宝泉地区を中心に全域で支持拡大を目指した。「市政に女性の力を」と女

敗戦にため息 「きずな財産」 長沼氏

午後九時半すぎ、鳥上山町の選挙事務所に落選の速報が伝わる。支持者や選挙戦を支援したボランティアから「あー」とため息。支持者を前に長沼広氏は「私の力不足で票に

結び付けることができなかった。期待に応えられず申し訳ない。戦いで得たきずなは大きな財産。今後も地域のなかで頑張っていきたい」と述べた。選対の小林人志事務局長は「十四カ月にわたって活動を展開してきたが、候補者を支えきれなかった」と話した。



敗戦の弁を述べ支持者に頭を下げる長沼氏＝12日午後9時30分

性票の掘り起こしも図ったが、結果は四候補者中、三位の得票。涙ぐむ支援者と握手する

長谷川氏に対し、「次がある」「よくやった」などの声援が上がった。



落選し支持者に深々と頭を下げる長谷川氏＝12日午後9時45分

本州最大級の100万本の芝桜

おおた芝桜まつり

期間■4月30日(木)まで
場所■太田市上強戸町2079-3「北部運動公園」
・東武桐生線治良門橋駅から徒歩約30分
・北関東自動車道太田桐生ICから約15分
見頃■4月第2～3週頃
見所■19haの公園のうち、4.6haの丘陵地に広がる100万本の芝桜が圧巻です。

問い合わせ おおた芝桜まつり推進協議会〔市花と緑の推進課内〕☎0276-47-1840(直)

第20回 関東山野草展

期間■4月28日(火)～5月5日(火)
会場■大光院境内特設会場(太田市金山町37番8号)

- 山野草の展示即売会〔開催期間中(売切れ次第終了)〕
- 山野草の栽培教室 5/3(日)13:30～15:00 講師は趣味の園芸でお馴染みの久志博信氏
- ポスター原画展 5/2(土)～10(日)10:00～17:00 ※最終日は16:00まで
会場:駅なか文化館ギャラリー
- 切絵教室 5/2(土)・3(日)各日10:00～15:00
会場:駅なか文化館第1会議室 定員20名

主催/関東山野草展実行委員会 共催/太田市 後援/太田市観光協会

問い合わせ 関東山野草展実行委員会〔市商業観光課内〕☎0276-47-1833(直)